

平成二十二年七月四日(日)午後二時始

第十回 吉田後援会能「花の能」

於 京都観世会館

養老 吉田和史
 屋島 吉田潔司

仕舞 久保信一朗
 寺澤幸祐
 橋本擴三郎
 松野浩行

地謡 松野浩行

雨之段 大江又三郎
 笠之段 井上裕久
 鼓之段 林喜右衛門
 玉之段 杉浦豊彦

仕舞 浦部幸裕
 吉浪壽晃
 浦部好弘
 寺澤幸祐

地謡 浦部幸裕
 寺澤幸祐

休憩 十五分

道成寺

吉田篤史 和田英基
 江崎金治郎 河村大
 江崎敬三 吉阪一郎
 森田保美

問 茂山千三郎
 茂山童司

橋本擴三郎 浦部幸裕
 井上裕久 浅井通昭
 吉田潔司 吉浪壽晃
 勝部延和 林喜右衛門
 宮田宏之

鐘後見 大江又三郎 松野浩行 橋本光史
 橋本雅夫 久保信一朗

狂言鐘後見 茂山正邦 井口竜也
 茂山茂 鈴木実

附祝言 (終了予定 四時半頃)

主催 吉田後援会

【能「道成寺」あらすじ】

紀州・道成寺の住僧（ワキ）が撞鐘再興の供養に際し、能力（狂言）に女人禁制の旨を申す。そこに一人の白拍子（前シテ）が来て、鐘の供養に舞を舞うからと云う。能力の許しを得、舞いながら鐘に近づき中に飛び込むと鐘は白拍子と共に落ちる。

——中入——

能力が住僧にその由を申すと住僧は昔、真砂の莊司の娘が怨みより毒蛇となり鐘を焼き溶かした話を聞かせる。その女の執心ゆえと、従僧（ワキツレ）と共に祈念すると、鐘は再び上がり、中から蛇躰（後シテ）が現われる。住僧の祈りにて、蛇躰は祈り伏せられ、日高川に飛び入るといふ物語。

吉田 潔司

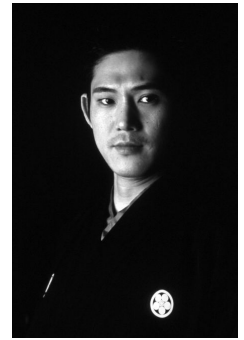
シテ方 観世流準職分
 重要無形文化財
 能楽(総合指定)保持者
 1942(昭和17)年生まれ



- ・幼少より京都にて井上嘉介師、父 吉田佳弘に師事。6歳にて初舞台。同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・昭和47年に独立。石橋・乱・道成寺・砧・求塚・清経(恋の音取)・正尊を開曲。
- ・吉田嘉謡社二代目社主として、平成4年より京都で「花の能」を自主公演するなどの演能活動の一方で、京都府各所(京都・向日・福知山)・広島県各所(尾道・鞆・福山)に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

吉田 篤史

シテ方 観世流準職分
 1974(昭和49)年生まれ

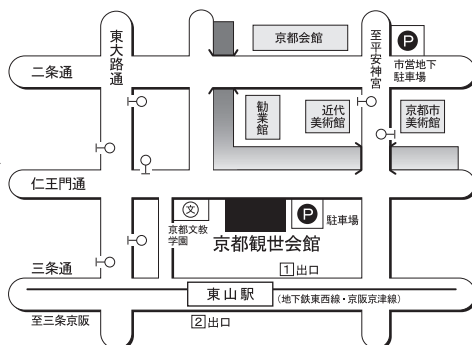


- ・幼少より京都にて井上嘉介師、祖父 吉田佳弘、父 潔司に師事。3歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・平成13年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳を開曲。
- ・吉田嘉謡社副社主として、平成4年より京都で「花の能」を自主公演するなどの演能活動の一方で、京都府各所(京都・向日・南丹)・岐阜県各所(大垣・瑞穂・岐阜)・広島県各所(福山・広島)・東京に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。

《お客様へお願い》

- ◇テーブ録音・ビデオ撮影はお断りします。
- ◇事務局で許可した以外の方の写真撮影はお断りします。
- ◇場内では携帯電話等の呼出音はお切り下さい。
- ◇都合により出演者に変更がある場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ◇東隣に有料駐車場(20台程度)があります。満車の場合は通路左寄(数台・有料)または、岡崎公園市営地下駐車場をご利用下さい。

《京都観世会館ホームページ》
<http://www.kyoto-kanze.jp>



- JR京都駅から
市バス[5][100]で「京都府会館美術館前」下車(乗車時間約30分)
市地下鉄「烏丸御池」にて地下鉄東西線乗換え「東山駅」下車(乗車時間約20分)
- 阪急河原町駅から
市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車(乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から
市バス[5]で「京都府会館美術館前」下車(乗車時間約7分)
地下鉄東西線で「東山駅」下車(乗車時間約1分)
- JR二条駅から
地下鉄東西線で「東山駅」下車(乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から
地下鉄東西線で「東山駅」下車(乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約5分